

重井中学校だより

平成27年11月6日(金) 第12号

平成27年度授業公開 10.9(金)

本年度の授業公開は、社会(1年)・英語(2年)・理科(3年)の授業を公開しました。どの授業もICTを活用し、生徒に興味・関心を持たせることで学習意欲を高め、基礎基本の理解と基礎的な学力の定着を図ることをめざしたものでした。

参観された方から、「子どもたちがとても意欲的に取り組んでいました。ICTの活用がよいと思いました。」「ICTの活用がうまい。常時(先生が)good! Very good!を連発されるので、子どもたちの中に自然と自己肯定感が高まっていると思いました。授業者の肯定的評価の大切さを再認識できました。」などの意見をいただきました。

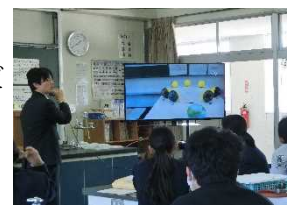
全体会で講演をいただいた広島大学大学院の小原教授からは、「『重井教育』の目標の明確化を図り、生涯にわたって『生きる力となる』基礎体力づくり(C型学力)が必要である。」「子ども自身が『希望の物語を見つける』『希望の物語を創り出す』学校教育が大切である。」との助言をいただきました。

研究授業 道徳 10.19(月)

1年生の道徳は、家族愛をテーマにした授業でした。家族についての率直な思いを書き出し、次に班で意見交流し、その後班ごとに発表しました。

最後に、一人一人の幼児期の写真をテレビ画面に映し出し、保護者の方に書いていただいていたメッセージを渡すと、さまざまな思いがこみ上げて涙ぐんでいる生徒も多くいました。反抗期に入りかけている現在の自分を振り返り、家族愛について考え、自分自身を見つめることができたようでした。

講師の広島国際大学の竹田教授には、特別の教科「道徳」について、目標や指導計画や授業の組み立て方等を指導していただきました。



道徳公開 地域貢献活動 11.2(月)

道徳公開では、1年生は保護者の方も(中学生時代を振り返って)参加していただき、生徒とともに「親に言われたくないこと」「親に言ってほしいこと(してほしいこと)」などについて意見交流を行い、家族愛についての考えを深めました。

2年生は、尾道高校の藤原先生をゲストティーチャーに迎え、自分が選択する・終わりを考えてから始める・一番大切なことを優先するなど「7つの習慣J」について学習し、できないというパラグラフを打ち破り、個性を伸ばして充実した生活を築く意欲を高めました。

3年生は、重井町文化財協会の村上吉信会長をゲストティーチャーに迎え、20年後の未来予想図を考えました。20年後、自分はどんな大人になっているのか、どんな仕事をし、どんな家族をつくっているのかを予想しました。その後、重井(因島)について考え、20年後の重井に残したいものや望むことなどについて意見を交流し、ふるさとと自分との関係で郷土愛について考えました。

道徳の授業の後は、地域貢献活動です。1年生は白滝山道、2年生は重井八幡神社、3年生はフラワーセンターで保護者の方と一緒に清掃活動をしました。落葉の季節だけに、八幡神社やフラワーセンターでは落ち葉集めが中心になりました。少し風が吹くとせっかく集めたものが飛び散ったり、石の割れ目などに入って取れにくかったりしましたが、1時間ほどの活動できれいにすることができました。

白滝山道や八幡神社やフラワーセンターへの道ばたには、思いの外空き缶などが投げ捨てられていて、結構ゴミ袋いっぱいになっていました。1年生は小型冷蔵庫まで発見しました。

授業参観に引き続き、清掃活動に参加していただいた保護者の皆様ありがとうございました。



中学校音楽コンクール 10.28(水)

Dブロック最後に登場し、課題曲「夢の世界を」と自由曲「君とみた海」を美しいハーモニーで歌いました。歌だけでなく、入退場や舞台での態度においても本番が最高のできになり、会場にいらした方から「よかったよ」「感動した」などの言葉をかけていただきました。

